

栃木市の概要

令和8年度



栃木市マスコットキャラクター 『とち介』

(令和8年5月18日現在)

目 次

1	市 章	・・・・・・・・・・	1
2	市の概要	・・・・・・・・・・	1
	位置と地勢	・・・・・・・・・・	2
	交 通	・・・・・・・・・・	2
	観光資源・地域資源イラストマップ	・・・・・・・・	3
3	財政状況（令和8年度）	・・・・・・・・・・	4
4	議会関係	・・・・・・・・・・	7
5	活動状況	・・・・・・・・・・	11
6	事務局の構成	・・・・・・・・・・	12

1 市 章



緑色の4本のラインは「自然」、「歴史」、「地域」、「人」を表し、青色はこれらがひとつとなった大河の流れを、その先にあるオレンジ色の円は輝かしい未来と人々の情熱を表しています。いままでの歴史を受け継ぎ、明るい未来へと続くイメージを栃木市の「と」の文字をモチーフに表現しました。

※ 市章は、平成22年10月2日に開催された合併記念式典で発表されました。

2 市の概要

区 分		令和8年4月1日	令和7年国勢調査
人 口	男	75,901人	73,851人
	女	75,269人	74,461人
	計	151,170人	148,312人
世 帯 数		68,690世帯	61,761世帯
産 業 別 就 業 人 口 <small>総務省統計局 令和2年 国勢調査結果</small>	第1次	4,126人(5.5%)	
	第2次	25,264人(33.8%)	
	第3次	45,456人(60.7%)	
面 積		331.50 k ^m ² 市街化区域 34.54 k ^m ² 市街化調整区域 264.96 k ^m ² 未線引き 32 k ^m ² (西方都市計画区域)	
市 制 施 行		平成22年3月29日	

※産業別就業人口については、未発表につき、令和2年国勢調査結果を記載しております。

位置と地勢

栃木市は、栃木県の南部に位置し、東京から鉄道でも、高速道路でも約1時間の距離にあります。

南北約33.1km、東西約22.3km、面積約331.50km²を有し、茨城県、群馬県、埼玉県との3つの県と接する希有な地域でもあります。

地勢としては、西に「三轟山（みかもやま）」と「岩船山（いわふねさん）」、中央には「太平山（おおひらさん）」を中心とする太平山県立自然公園が広がり、南にはラムサール条約登録地である「渡良瀬遊水地（わたらせゆうすいち）」など、県南のシンボリックな自然景観と、「渡良瀬川（わたらせがわ）」、「思川（おもいがわ）」、「巴波川（うずまがわ）」、「永野川（ながのがわ）」、「三杉川（みすぎがわ）」などの多くの豊かな河川を有しています。

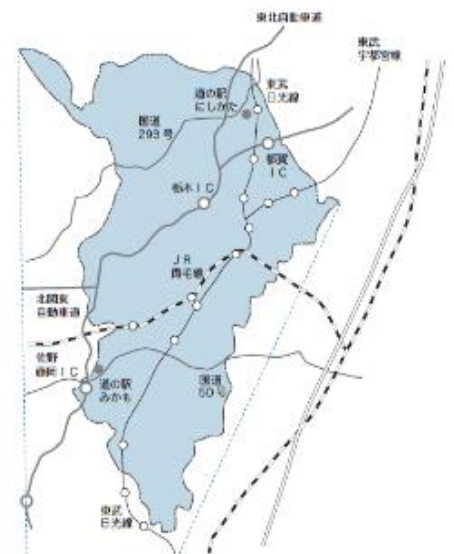
また、北東部から南東部にかけて、関東平野に連なる平坦地が広がる県内多数の農業地帯となっており、米はもちろん、ぶどう、いちご、トマト、きゅうり、さつまいもなどの特産物に恵まれています。

交通

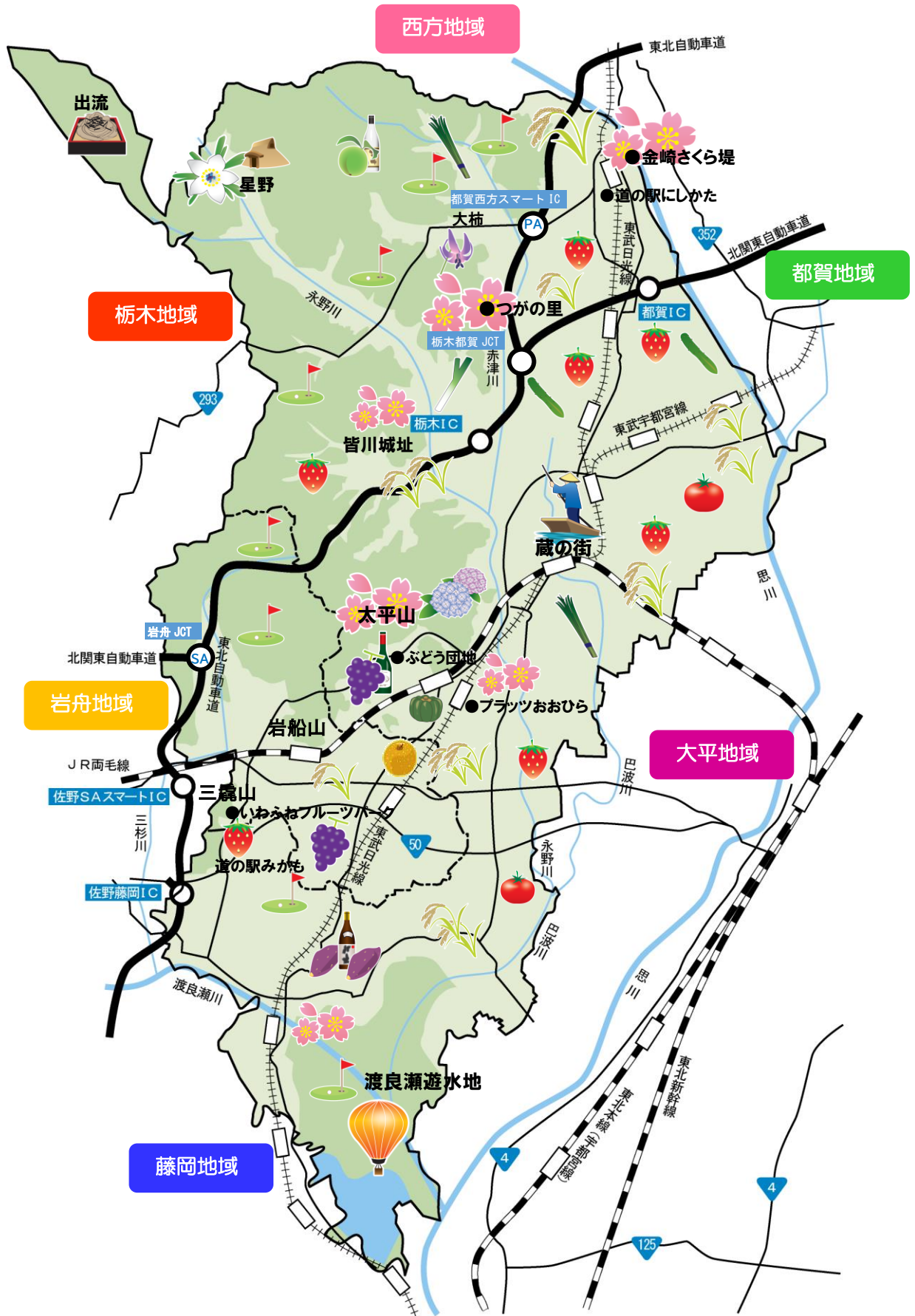
東北自動車道が南北を縦断し、北関東自動車道が東西を横断するなど、充実した高速道路網が形成され、市内には、佐野藤岡、栃木、都賀の3つのインターチェンジと都賀西方スマートインターチェンジが設置されています。

また、広域間を結ぶ国道、県道など県内外とのアクセスに優れた道路網を形成しています。

公共交通では、東武日光線、東武宇都宮線、JR両毛線の3路線、12駅があり、通勤通学の足として、東京、埼玉方面への交通手段として、充実した交通網になっています。



観光資源・地域資源イラストマップ



3 財政状況(令和8年度当初予算額)

会 計		金 額 (千円)
一 般 会 計		76,990,000
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	16,898,670
	後 期 高 齢 者 医 療	2,896,578
	介 護 保 険 (保 険 事 業 勘 定)	15,890,387
	介 護 保 険 (介 護 サ ー ビ ス 事 業 勘 定)	81,958
	栃木インター西産業団地	1,322,693
	平 川 産 業 団 地	820,108
	小 計	37,910,394
企 業 会 計	水 道 事 業	4,834,050
	下 水 道 事 業	7,401,651
	小 計	12,235,701
合 計		127,136,095

一般会計当初予算款別内訳

歳 入

款		金 額 (千円)	構成比(%)
自 主 財 源	市 税	22,760,423	29.6
	分担金及び負担金	208,059	0.3
	使用料及び手数料	731,239	0.9
	財産収入	187,136	0.2
	寄附金	1,702,869	2.2
	繰入金	4,504,192	5.9
	繰越金	2,000,000	2.6
	諸収入	4,520,876	5.9
	小 計	36,614,794	47.6
依 存 財 源	地方譲与税	636,000	0.8
	利子割交付金	83,000	0.1
	配当割交付金	212,000	0.3
	株式等譲渡所得割交付金	301,000	0.4
	法人事業税交付金	405,000	0.5
	地方消費税交付金	4,535,000	5.9
	ゴルフ場利用税交付金	355,000	0.5
	環境性能割交付金	1	0.0
	地方特例交付金	263,000	0.3
	地方交付税	10,642,000	13.8
	交通安全対策特別交付金	18,500	0.0
	国庫支出金	11,315,145	14.7
	県支出金	5,871,360	7.6
	市 債	5,738,200	7.5
小 計	40,375,206	52.4	
合 計	76,990,000	100.0	

歳 出

款	金 額 (千円)	構成比(%)
議 会 費	363,859	0.5
総 務 費	9,618,358	12.5
民 生 費	28,738,606	37.3
衛 生 費	6,737,550	8.7
労 働 費	64,851	0.1
農 林 水 産 業 費	1,350,976	1.7
商 工 費	4,356,003	5.7
土 木 費	5,452,716	7.1
消 防 費	3,194,793	4.1
教 育 費	10,211,584	13.3
災 害 復 旧 費	10,004	0.0
公 債 費	6,845,700	8.9
予 備 費	45,000	0.1
合 計	76,990,000	100.0

4 議 会 関 係

議員定数	現員数	27人							
	条例定数	28人							
党派	会派	公明党議員会	かがやき	とちぎ未来	真政クラブ	創政会	とちぎ希望	無会派	計
	自由民主党		1	3	4		1	1	10
	公明党	3							3
	日本共産党							1	1
	参政党						1		1
	無所属		2	1	2	2		5	12
	計	3	3	4	6	2	2	7	27
常任委員会 (開催は原則 1日1委員会)	総務常任委員会 7人 (総合政策部、経営管理部、地域振興部、消防本部、会計課、選挙管理委員会、監査委員及び公平委員会の所管に属する事項、他の常任委員会の所管に属しない事項)								
	民生常任委員会 7人 (生活環境部、保健福祉部及び子ども未来部の所管に属する事項)								
	産業教育常任委員会 7人 (産業振興部、教育委員会及び農業委員会の所管に属する事項)								
	建設常任委員会 6人 (都市建設部及び上下水道局の所管に属する事項)								
議会運営委員会	現員数 7人 委員は、各会派から1名を選出している。会派の数が7を超えるときは、会派の数をもって定数とする。								

各 会 派 代表者会議	議会運営等に関し、各会派の意見調整、連絡及び協議等を行う必要が生じた時、適宜開催している。		
発 言	一 般 質 問	通 告 期 限	議会運営委員会のおおむね4日前に受付している。
		質 問 時 間	1人30分以内（答弁時間は除く。）
		質 問 回 数	制限なし
	質 疑	議案等に対する質疑は一般質問と分離し、一般質問最終日の終了後に行う。持ち時間の制限はしていないが、回数は3回までと制限している。	
	討 論	発言時間20分以内	
予算・決算 ・一般会計 ・特別会計 ・企業会計	予 算	当初予算については、予算特別委員会に付託し、所管の分科会に一般会計は分割送付、特別会計・企業会計は送付している。補正予算については、所管の常任委員会に一般会計は分割付託、特別会計・企業会計は付託している。	
	決 算	決算特別委員会に付託し、所管の分科会に一般会計は分割送付、特別会計・企業会計は送付している。	
請願・ 陳情の 取扱い	提 出 限	原則として、議会招集日前に協議のために開かれる議会運営委員会の開催前3日までに受理した請願・陳情を当該定例会の対象としている。ただし、緊急の場合は、随時受け付ける。また、提出者の希望の有無を確認し、発言する機会を設けている。	
	請 願	本会議に上程し、所管の常任委員会に付託している。	
	陳 情	請願に適合する陳情は、請願と同様の取扱いをしている。	

会議の公開	本会議	平成22年12月定例会 録画映像をインターネットで配信開始 平成24年12月定例会 ライブ配信開始 平成26年3月定例会 CATVで生放送開始（一般質問等）	
	常任委員会	平成22年9月定例会から、平成26年12月定例会までの間、移動委員会として合併前の旧各町を含む外部施設にて常任委員会を開催した。 平成26年度よりホームページで会議録を公開	
特別職等の報酬 (平成22年3月29日改定)		議長 535,000円	
		副議長 465,000円	
		議員 420,000円	
		市長 1,020,000円	
		副市長 840,000円	
		教育長 680,000円	
行政視察費		常任委員会視察 1人につき 50,000円	
		議運委員会視察 1人につき 50,000円	
議長交際費		700,000円	
政務活動費交付金	交付額	1人月額30,000円を会派に交付（後払い式）	
	交付対象	研究研修費、調査旅費、資料作成費、資料購入費、会議費、人件費、その他の経費	
会議録		印刷部数	本会議：8部 委員会等：2部
		年間予算	4,033,000円
		本会議単価	1時間当たり 20,300円（消費税別）
		委員会単価	1時間当たり 18,800円（消費税別）
			1時間当たり 28,200円（消費税別）※特急
本会議会議録配布先	市内図書館（全6館）		
議会報 (議会だより)		発行部数	50,800部
		発行回数	年4回（改選時は、臨時号(4頁)を発行）
		年間予算	5,488,000円

	ページ単価 (定例会分)		カラー刷り頁 0.2円(消費税別) 2色刷り頁 1.3円(消費税別)				
	配布先		市内全世帯、市内コンビニ等 (※別途朗読テープ版、点字版作成)				
議員 (年齢別)	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
	0人	2人	4人	9人	8人	4人	0人
議員 (期数別)	1期	2期	3期	4期	5期		
	8人	4人	3人	3人	9人		

5 活動状況

(1) 本会議開催状況（令和7年4月～令和8年3月）

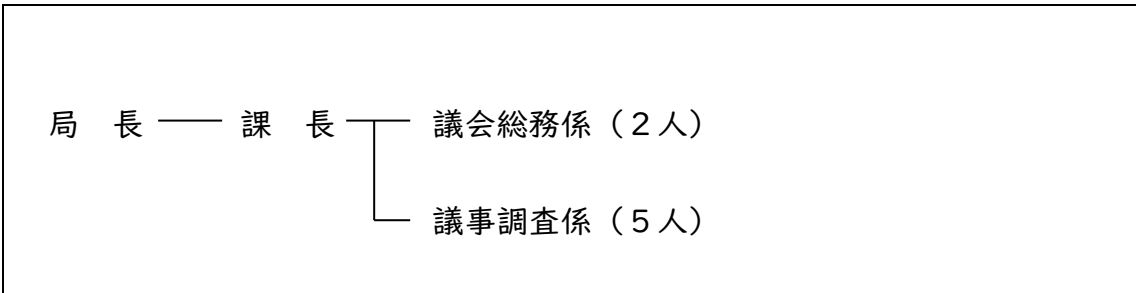
会議名	会期日数	本会議日数	延べ会議時間	一般質問者数
6月定例会	20日	6日	15時間33分	15人
7月臨時会	1日	1日	0時間06分	—
9月定例会	32日	6日	16時間38分	15人
12月定例会	20日	6日	20時間21分	20人
1月臨時会	1日	1日	0時間59分	—
3月定例会	33日	5日	12時間29分	10人

(2) 常任委員会等開催状況（令和7年4月～令和8年3月）

委員会名等	開催回数	委員会名等	開催回数
議会運営委員会	21回	総務常任委員会	4回
民生常任委員会	8回	産業教育常任委員会	14回
建設常任委員会	4回	予算特別委員会(分科会含む)	7回
決算特別委員会(分科会含む)	7回	議員全員協議会	8回
議員研究会	18回	議会改革検討委員会	2回
各会派代表者会議	19回	議会報告会運営委員会	7回
広報委員会	9回	議員研修会	1回
議員定数及び議員報酬検討委員会	3回	学校法人陽光学園ひまわり学童補助金に関する調査特別委員会	26回

6 事務局の構成

(令和8年4月1日現在)



栃木市議会事務局

栃木県栃木市万町9-25

TEL : 0282-21-2503~2506

FAX : 0282-21-2688

E-mail : gikai@city.tochigi.lg.jp